

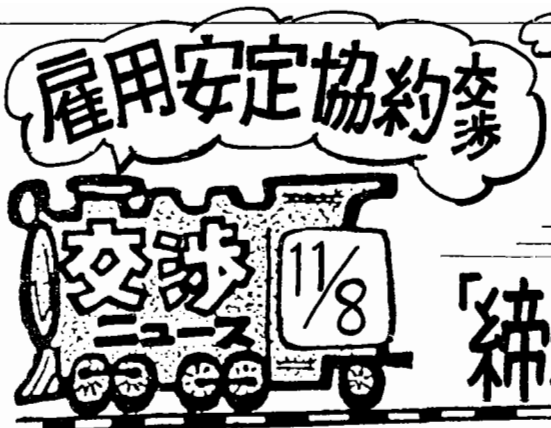
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）五三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄千葉動力車労働組合

鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

「現行通り」無条件完全締結せよ

「締結」を人質に、出向・派遣-屈服を強要する当局を許すな！



「雇用安定協約」は、本年十一月三十日をもって期限切れとなるが、当局は「動労『本部』革マルや鉄労等とは締結するが、動労千葉や国労とは締結しない」との姿勢をマスコミ等を使って露骨に打ち出している。動労千葉は十月十六日に、「申第7号」をもって現行通り三年間の締結を申し入れてきたが、十一月八日の団体交渉の席上当局は『三本柱』に積極的に協力しなければ『雇用安定協約』を締結しない」との反動的対応に終始した。

「現行通りの内容で」「三年間引き続き」締結せよ 組合側要求

動労千葉が申し入れた「申第7号」は次の通りであるが、不当にも当局は文書回答を拒否し、口頭での回答を行った。

「雇用安定等に関する協約」に関する申入れ

1. 「雇用の安定等に関する協約」について、十二月一日以降も現行通りの内容で、期間は三年とし、引き続き締結すること。
 2. 労働協約の締結にあたり、当局があらかじめ一部労働組合とのみ締結し、他の労働組合とは締結しないことを目的化して対応することは明確に不当労働行為であると考え、
「雇用の安定等に関する協約」に関する以下の各点について国鉄当局の見解を明らかにすること。
- (1) 一部労働組合とのみ締結する考えなのかどうか。
 - (2) 一部労働組合とのみ締結する考えであるとするれば、その根拠は何か。
- （十月十六日・動労千葉「申第7号」）

「組合員を出向・派遣にせよ出すなら締結してやってもよい……」

―― 当局の卑劣回答 ――

動労千葉の申し入れに対し、団体交渉の席上当局は「『職労4号』をもって、雇用安定協約を締結するために『三本柱』

について積極的に協力してほしいと申し入れたが、努力しているとはいえない。再締結できるような環境づくりをしてほしい」と回答してきた。

動労千葉の、「具体的努力とは何か」との追及に対し当局は「協定を結ばない」ということではなく、派遣実績をあげることであり、そのために組合として啓蒙しなければならぬ」といい放った。

当局は、動労「本部」革マルのように組合の名をもって組合員を出向・休職にかりたてよ。さもなければ「雇用安定協約は結んでやらないぞと」脅迫しているのだ。

当局は、動労「本部」革マルの裏切りと屈服・協力をテコにして、動労千葉や国労の屈服や骨抜きを狙っているのだ。動労千葉の激しい追及に対し「動労『本部』と『雇用安定協約』を締結するなど確認はしていない。動労千葉とは十一月末までの「具体的努力」で判断する」とひらき直った。

労働者の魂は売れない！
実力決起で要求獲得へ

われわれは、こんな理不尽な脅迫政治に屈服して、労働者の基本権や労働者の魂を売りわたし、当局の意のままになる奴隷の道を歩むことは断じてできない。このような、増長しきつた悪らつな当局は、どんなことをしてもうち倒さなければならぬ。

当局の高慢な姿勢に対し、われわれは実力決起をもって回答とするのみだ。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！